学校番号	416

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新　社会と情報　新訂版　（実教出版）						
副教材等	２０２１　事例でわかる情報モラル　３０テーマ（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書と副教材等を使用して、情報技術が社会に与える影響を理解し、情報技術を適切に活用する力を養う。授業形式は講座形式と実技形式を平行して実施する。特に、情報モラルの欠如による高校生のトラブル事例が多いことを把握させ、情報社会（ユビキタス社会）の一員として、情報モラルの観点を養う学習を重要視する。

２　学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器等を効果的に活用したコミュニケーション能力や情報の想像力・発信力等を養うなど、情報を収集、処理、表現するとともに情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報社会に関心を持ち、情報社会の一員として主体的に参画していく態度を身につけている。	情報社会における自分自身の行動のあり方について、情報モラルの視点から、適切に判断し、行動することができる。	情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	コンピュータや情報通信ネットワークの仕組みを理解するとともに、情報社会を生きるための基礎的な知識を習得している。
評価方法	授業観察 ワークシート 授業プリント 発表	授業観察 ワークシート レポート 発表	授業観察 実技テスト レポート	授業観察 定期テスト 授業プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間考査まで	情報機器を使いこなそう	情報機器の特徴と役割について理解する。 情報機器の基本的な操作を確認して習得する。			○	○	c：文書処理ソフトウェアを使用して、指定した形式の文章を作成することが出来る。決められた時間内でキーボードから入力することができる。 d：様々な情報機器の特徴と役割について理解する。	実技課題 実技テスト プリント 授業観察
一学期期末考査まで	情報機器を利用する時の注意点	コンピュータやインターネットを利用する際の注意点を理解する。 基本的な情報モラルやマナーを身に付ける。	○	○			a：コンピュータやインターネットを日常的に利用する際に、情報モラルについて意識するようになる。 b：迷惑メールや架空請求メールを受け取った際の適切な対応について考えることができる。	授業観察 ワークシート レポート
二学期中間考査まで	情報をわかりやすく伝える	情報を相手に効率的に伝えるための手段や方法を理解する。 プレゼンテーション用ソフトウェアを活用した情報発信の方法を習得する。			○	○	c：プレゼンテーションソフトウェアを使用してスライドを作成することができる。 d：情報を収集・整理する手段について理解することができる。	実技課題 実技テスト プリント 授業観察
二学期期末考査まで	情報化が社会に及ぼす影響と課題	表計算ソフトウェアを活用した情報の分析方法を習得する。 望ましい情報社会のあり方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解する。		○	○		b：サイバー犯罪に巻き込まれた疑いがある場合に、どのような対処をとるべきか判断することが出来る。 c：表計算ソフトウェアを用いて基本的な計算することができる。データを表やグラフで分かりやすく表現することができる。	授業観察 ワークシート レポート
学年末考査まで	望ましい情報社会を築く	表計算ソフトウェアを活用した情報の分析方法を習得する。 情報システムの出いや特徴を理解し、社会生活での役割と影響を理解する。	○		○		a：人間にとって使いやすく安全な情報システムのあり方について関心を持つことができる。 c：表計算ソフトウェアの関数を用いて目的に応じた計算をすることができる。	授業観察 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。